



グラッときたら身の安全！

教室スタッフの動き

(生徒を守る)

- ドア、窓を開け避難路を確保する
- 大きな声で堂々と生徒へ声かけ指示する
- 落下物・転倒物から身を守らせる
- 負傷者の確認とその救護をする
- 火気の始末をし、主ブレーカーを落とす

(地震による二次災害の危険が予想される時) (塾長判断)

- 塾長は教室外への避難の有無を決定し教室スタッフに指示する
- 塾長は避難場所への経路と安全を確認する
- 生徒の前後にスタッフがつき、屋外へ出る
- 屋外または避難所へ速やかに避難する

※避難時に生徒名簿・講師名簿・当日の時間割表を持って避難する。
※事前に携帯やメールアドレスを取材しておく。

- 【避難場所】 教室が所在する市区町村が指定する広域避難場所
- 【避難方法】 生徒を集め集団で、その前後を教室スタッフが挟むようにして移動する。
- 【避難経路】 教室が所在する市区町村が定めた避難経路、幹線避難路などを活用する。
- 【避難誘導】 危険を回避するために教室スタッフの指示に従って行動するよう指導を徹底する。

本震発生



本震収束 教室外へ避難



生徒の 引き渡し

生徒の動き

(自分を守る)

- 先生の指示に従い、勝手に動かない
- あわてて教室の外に飛び出さない
- 机の下にもぐり身を守る
- ゆれがおさまってもカバン・座布団などで頭を守る

(地震による二次災害の危険が予想される時)

- 先生の指示に従い、勝手に行動しない
- 避難の時は、勝手に走らない、しゃべらない、人をおさない
- カバン・座布団などで頭を守る
- みんなで協力して、助け合う

◎保護者への生徒の引き渡し

【保護者との連絡手段】

- 生徒名簿などでは、保護者の電話・携帯電話・メールアドレスなども作成しておく。
(予め緊急時連絡先の名簿を作成しておくのもよい)

【生徒の引き渡し方法】

- 引き渡し方法を予め決めておく。(相手を確認の上、引き渡す)
- 引き取りが困難な場合は教室で保護する。

生徒の安全確保

あわてず勝手に動かない